

# 宜野湾市

## 地域学校協働本部名

宜野湾市地域学校協働本部

小学校9校

(普天間小学校、普天間第二小学校、大山小学校、大謝名小学校、嘉数小学校、志真志小学校、宜野湾小学校、長田小学校、はごろも小学校)

中学校4校

(普天間中学校、真志喜中学校、嘉数中学校、宜野湾中学校)

### ◆代表的・特徴的な活動

特別支援学級イベントサポート

低学年水泳学習サポート

新小学1年制給食配膳サポート

学校・PTA連携事業協力

式典会場の飾りつけ

野菜づくり指導

大綱引き校内ポスターコンクール

教室に入れない児童の見守り

校内耕運作業

新入生へのお祝い配付

新体力テストサポート

健診サポート

着衣泳指導

楽器指導

環境講話

戦跡フィールドワーク

災害講話

校区探検見守り

語学・文化交流支援

生徒会地域ボランティア支援

不登校傾向生徒の体験活動

職場体験受け入れ先発掘

ミシン補助

職業人講話

読み聞かせ

校区探検見守り→



←環境講話



語学・文化交流→



### ◆工夫していること

- ・コーディネーター連絡会において、情報交換を図り、活動の活性化に努めている。
- ・SNSを活用し、円滑な情報共有が図られている。
- ・市長部局と連携して開催した「ぎのわん地域づくり塾」にコーディネーターが積極的に参加し、地域のことについて、学び合いを深めている。

ぎのわん地域づくり塾→



### ◆成果と課題

- 【コ】コーディネーター間においてSNS等の活用により情報共有がスムーズになっている。また、コーディネーター間のサポートも増えてきている。
- 【教委】一部の地域コーディネーター未配置校においては、統括コーディネーターとともに情報・意見交換するなかで、配置の見込みが立てられた。
- △【教委】地域学校協働活動の目的や手法など、学校、教育委員会、コーディネーター間で、共通認識を持つよう努めながら、取り組む必要がある。

# 石垣市

## 地域学校 協働本部名

石垣市地域学校協働本部

小学校7校

(石垣小学校、新川小学校、真喜良小学校、八島小学校、登野城小学校、吉原小学校、平真小学校)

中学校3校

(川平中学校、白保中学校、石垣第二中学校)

### ◆代表的・特徴的な活動

○学習支援等の実施

【川平中学校未来塾】

・申込生徒数 3名 学習支援員 2名  
毎週月曜日 数学 16:30~18:00  
毎週水曜日 英語 16:30~18:00

【白保中学校未来塾】

・申込生徒数 18名 学習支援員 1名  
毎週土曜日 受験対策 14:00~17:00

【石垣第二中学校未来塾】

・申込生徒数 46名 学習支援員 1名  
毎週木曜日 数学 16:00~18:00  
毎週日曜日 数学 14:00~16:00

【石垣小学校 地域学校協働活動】

・申込児童数 16名 学習支援員 1名  
毎週水曜日 スマムニ 15:00~16:00  
偶数月第二土曜日 10:00~11:30  
※土曜日は文化体験学習を行う。



### ◆工夫していること

- 低学年と高学年を分けてスマムニ学習をすることで、私語が多いこともあるが、ペアを作って、グループに分かれてという指示に素早く対応してくれる。
- 複数の学習支援員と一緒に未来塾をやってもらうことで、勉強できる教科が増えた。事務作業も分担でき、学習支援員の負担も軽くなった。

### ◆成果と課題

- 高校受験対策を自習をベースに個別指導を行い、理解できていない部分を生徒と確認し、じっくり勉強できた。(学習支援員)
- 分からない部分を丁寧に教えてもらえるので、理解しやすい。(生徒)
- 勉強する時間が増えた(生徒)
- △例年の課題だが、学習支援員の確保が難しい(未来塾全体)
- △定期テスト前は出席率が上がるが、それ以外の時期は低くなる傾向がある。(学習支援員)

# 浦添市

## 地域学校 協働本部名

浦添中学校区地域学校協働本部(浦添中、浦添小、前田小)  
仲西中学校区地域学校協働本部(仲西中、仲西小、浦城小、宮城小)  
神森中学校区地域学校協働本部(神森中、神森小、内間小、沢岬小)  
港川中学校区地域学校協働本部(港川中、牧港小、港川小)  
浦西中学校区地域学校協働本部(浦西中、当山小)

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・地域自治会が家庭科の浴衣着付け実習を補助した(浦添中)
- ・「地域の歴史や文化、伝統芸能を学ぶ」授業で浦添織、組踊、前田棒を学んだ(浦添中)
- ・子ども博物館運営の補助(浦添小学校)
- ・地域の伝統的な「前田棒」を習い運動会で披露した(前田小)
- ・地域住民の方々が参加して、毎週木曜日、午前中花壇整備をしている(仲西中)
- ・浦添市立中央公民館の平和キャラバン事業を活用して平和学習を行った(仲西小)
- ・企業から米糠の提供を受け腐葉土を作り校内の花壇、教材園などに使っている(宮城小)
- ・放課後学習支援終了後ボランティアが食事提供している(神森中)
- ・周年事業で児童、ボランティア、学童・児童センター職員、保護者で路面アート作り(神森小)
- ・「地域を知ろう」学習で「こいのぼり」を作り地域の祭りに参加した(内間小)
- ・十五夜祭の講話と、関連する伝統芸能の空手・獅子舞・棒術の指導を受け運動会で披露した(内間小)
- ・退職教員による習字指導、地域ボランティアから地域伝統の講話(沢岬小)
- ・地域人材を活用してクラブ活動(琉舞・ヨガ・書写)を行った(牧港小)
- ・地域の介護老人施設から6年生へ卒業記念のプレゼントがあった(牧港小)
- ・宜野湾高校生(港川小卒業生含む)がボランティアで校内環境整備を行った(港川小)
- ・地域自治会の中・高校生が校舎ベランダの安全対策(赤のライン引き)をした(港川小)
- ・中央公民館サークルが家庭科実習(被服)ボランティアとして参加(港川中)
- ・PTA・保護者・地域関係者が児童の安心安全な通学路について意見交換した(当山小)
- ・企業が指導して生徒と一緒にトイレ清掃を毎週金曜日に行っている(浦西中)



↑浦添中 総合  
伝統芸能「前田棒」



↑仲西中「花壇整備」

### ◆工夫していること

- ・感謝集会を行い地域の方々へ感謝の気持ちを伝えている。
- ・HPで随時ボランティア活動報告を発信し情報共有している。
- ・「地域人材活用計画表」を作製し職員間で情報共有している。
- ・必要に応じて職員と地域コーディネーターの情報交換を行っている。
- ・ボランティアの方々とは情報交換しながら親睦を深め継続して活動できるようにしている。
- ・地域やボランティアの所へ必ず足を運び学校の思いを届けるようにしている。
- ・SNSを使って地域コーディネーターと情報交換している。
- ・他校のボランティアが集まる場へ出向いて交流を図っている。

### ◆成果と課題

- 【学】児童・生徒の学習内容が充実し学びの場を広げることができた。
- 【学】地域の方々とは活動を通して関わる中で、進んで挨拶する子が増えた。
- 【コ・学】地域コーディネーターと連携を密にし、協力体制が一層充実した。
- △【コ・学】ボランティアの高齢化、支援範囲の拡大などでボランティアにばかり頼るのは限界がある。
- △【学】子どもたちの地域行事やボランティア活動の参加が少ない。地域と学校との情報交換の方法を検討する必要がある。

# 名護市

## 地域学校 協働本部名

緑風学園学校運営協議会、屋我地ひるぎ学園学校運営協議会  
大北小学校学校運営協議会、名護小学校学校運営協議会  
名護中学校学校運営協議会、羽地中学校区学校運営協議会  
東江中学校区学校運営協議会、大宮中学校区学校運営協議会  
屋部中学校区学校運営協議会、久辺中学校区学校運営協議会

### ◆代表的・特徴的な活動

#### 【学習】

##### ～総合学習～

- ・自然体験学習（磯歩き、カヤック、川探検、マングローブなど）
- ・地域を歩いての平和学習及び地域学習 ・移民国際学習 ・平和学習
- ・稲作学習 ・課題解決学習及び商品開発 ・福祉体験学習

##### ～授業のサポート・参加～

- ・体育（タグラグビー、跳び箱、水泳）、国語（短歌）、音楽、家庭科の授業支援
- ・昔遊び授業の講師 ・校内畑づくり協働作業 ・英語授業参加（久辺小）

#### 【安心・安全】

- ・登下校時安全指導 ・校区内パトロール ・PTA、地域による環境整備作業
- ・交通安全教室・避難訓練（地震・津波）

#### 【キャリア教育】

- ・ジョブシャドウイング ・職場体験学習
- ・マナー講座 ・職業人講話
- ・語れ一会 ・ライフプラン学習
- ・租税教室 ・金融教育

#### 【その他】

- ・朝の読み聞かせ ・部活動指導
- ・サイエンスクラブ ・放課後の居場所づくり
- ・地域清掃 ・地域行事や交流会への参加



稲作体験学習  
（羽地小・稲田小・真喜屋小）

### ◆工夫していること

- ・学校では児童生徒に身に付けさせたい姿を地域住民や保護者とともに共有し、授業や協働活動に望んでいる。
- ・いろいろな関係機関と連絡や話を続けていく事で協働活動につながる情報を仕入れ、年度途中でも活動日程を組めるように余裕を持たせた教育課程にした。
- ・授業参観日に合わせてありがとう集会を行い、子供たちの様子を見てもらった。
- ・校区内の地域教材や地域人材の共有、更新を行った。
- ・学校での子供たちの様子をできる限り多く地域・関係者に伝えるために、各公民館への学校だよりの配布などを定期的に行った。
- ・教育活動と連動した「地域貢献活動」に取り組んだ。

### ◆成果と課題

- 【学校】外部機関との連携が広く深くなり、いくつかの新しい取り組みができたことにより地域の新しい協力者の発掘ができた。
- 【学校】学校と地域学校協働活動推進員との連絡調整を随時行うことで、保護者や地域の方々が積極的に学校に来校するようになり、協働活動の方向性を確認しながら取り組めるようになった。
- 【学校】感染症が蔓延していた頃と比べ、保護者との連携が出来つつある。
- △【教委】コミュニティ・スクール（CS）に関する理解促進
- △【コ】学校からの要望に関する情報共有や調整の場の定期的な設定
- △【学校】CS活動の地域への周知

# 糸満市

## 地域学校 協働本部名

兼城中学校区地域学校協働本部(兼城小・兼城中)  
糸満中学校区地域学校協働本部(糸満小・糸満南小・糸満中)  
高嶺中学校区地域学校協働本部(高嶺小・高嶺中)  
三和中学校区地域学校協働本部(真壁小・喜屋武小・米須小・三和中・大度分校)  
西崎中学校区地域学校協働本部(西崎小・光洋小・西崎中)  
潮平中学校区地域学校協働本部(潮平小・潮平中)

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・平和学習
- ・そろばん
- ・習字
- ・ミシン
- ・福祉学習(講話、施設見学)
- ・海洋教育
- ・クラブ活動  
(習字、折り紙、手芸、三線、昔遊び、琉舞、  
生け花、しまくとぅば、バドミントン、  
手話、エイサー、ティボール、英会話、  
ダンス、将棋)
- ・職業人インタビュー  
(警察官、消防士、保育士、ホテル、助産師、  
介護士、教師、カフェ、ネイリスト、  
栄養士、社会福祉士、プログラマー)



平和学習(兼城中)



福祉講話(潮平小)

### ◆工夫していること

- ・先生方との事前調整を密に行い、ニーズにあったボランティアをマッチングできるようにする。
- ・他校区のコーディネーターとの連携及び情報交換。
- ・今後も継続的に協力していただきたいので、講師側への配慮にも気を付けている。
- ・メールを活用することで気軽に質問、確認できた。

### ◆成果と課題

- 【コ】ボランティアの皆さんから学校と関わる良い機会になったと感想を頂いた。
- 【コ】講師としての授業代行には教育委員会から交通費支給があるため、ボランティアさんへ依頼しやすい。
- 【学校】専門の先生から指導を受けることで、児童の意欲が高まった。
- △【教委】全中学校区へのコーディネーターの配置
- △【教委】ボランティアさんの発掘

# 沖縄市

## 地域学校協働本部名

越来小学校地域学校協働本部、他23地域学校協働本部  
小学校16校、中学校8校  
(コザ小学校、中の町小学校、安慶田小学校、諸見小学校、島袋小学校、山内小学校、北美小学校、美里小学校、美東小学校、宮里小学校、高原小学校、室川小学校、美原小学校、泡瀬小学校、比屋根小学校、越来中学校、コザ中学校、山内中学校、美里中学校、美東中学校、安慶田中学校、宮里中学校、沖縄東中学校)

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・ 社会福祉協議会、地域包括センターからの協力依頼で、比謝川周辺道路での桜の木植樹祭を行い、地域のお年寄りや新1年生の交流を支援〈越来小学校〉
- ・ 運動会のゼッケンの修繕(中の町手芸サークル紬の会)〈中の町小学校〉
- ・ 地域と保護者も交えて薪割り体験、耐火レンガ窯でピザ作り体験の補助〈島袋小学校〉
- ・ 地域の工場見学の見守り〈宮里小学校〉 ・ 地域の方によるクラブ指導〈比屋根小学校〉
- ・ 泡瀬干潟観察見守り〈高原小学校〉
- ・ 室川青年会OBによる運動会のエイサー指導〈室川小学校〉
- ・ 1年生の算数教材の名前書き作業〈泡瀬小学校〉
- ・ 卒業式前の子ども達の夢を託したオオゴマダラの放蝶式〈コザ中学校〉
- ・ 琉球大学の学生や卒業生、保護者による数学学習支援「土曜塾」〈美東中学校〉
- ・ 自治会の「津波避難経路」の看板を美術部と共に製作〈沖縄東中学校〉
- ・ 登下校の安全見守り ・ 自治会への行事参加 ・ 読み聞かせ ・ 丸付け ・ 給食の配膳補助



フラダンスクラブ



登下校の安全見守り



薪割り体験の様子

### ◆工夫していること

- ・ 小中合同で学校と交通安全指導、あいさつ指導の方との情報交換会を行い、学校周辺道路について意見交換、情報の共有を行っている。
- ・ ふれあい農園の野菜の植え付けや収穫を子ども達と行き、地域・保護者をお招きし収穫祭(カレー試食会)を行っている。
- ・ 積極的に教職員へ声掛けし、学校と地域の連携を密にとっている。
- ・ 様々なボランティア同士の交流ができるよう、配置を固定しないよう考慮している。
- ・ 読み聞かせボランティア募集のポスターを作成し、呼びかけをしている。
- ・ 職業人講話の講師を子ども達がよく目にする地域の企業へ依頼している。
- ・ ボランティアの活動様子の新聞を作成し、自治会などに配布、学校では掲示している。
- ・ 感謝集会で日頃の感謝を子ども達からボランティアの方へ伝え、お礼状を配布。

### ◆成果と課題

- 【学・推】交通安全ボランティアとの情報共有を行うことで、スクールゾーンの違法侵入車が減少し、子ども達が安全に登下校できるようになった。
- 【学】公民館との連携で不登校や登校しぶりのある児童の登校状況が改善した。
- 【学】読み聞かせの活動では、朝の静かな雰囲気を作り出すことが出来ている。
- 【学】子ども達は地域ボランティアの顔を覚えて、学校内外でも声をかけてくれる様になり、地域を思う心が育まれている。
- △【推】地域からサポートを受けるだけになっていたので、児童・学校・PTA側も地域に貢献できるような活動を思案していきたい。
- △【推】全ての先生に本事業の活動内容が伝わるよう、説明の仕方の工夫が必要。
- △【学】新たなボランティア人材の確保と維持。

# 豊見城市

## 地域学校 協働本部名

豊見城市地域学校協働本部

市内8小学校・3中学校

(上田小、長嶺小、座安小、豊見城小、伊良波小、とよみ小、豊崎小、ゆたか小、豊見城中、長嶺中、伊良波中)

### ◆代表的・特徴的な活動

- クラブ活動の講師（三線、折り紙、書道、昔遊び、しまくとぅば、英語、中国語、サッカー、陸上、ダンス、手芸、イラスト、五色百人一首、ウクレレ、手話、和太鼓、琉球舞踊、空手、エイサー）
- 地域講話（豊見城市を知る）
- 平和講話
- ミシン指導
- 水泳見守り
- 読み聞かせ
- 陸上指導
- 市内巡りガイド
- 町たんけん受け入れ
- 環境美化（花壇の手入れ等）
- 朝の交通安全指導
- 職業講話
- 市の特産物に関する講話
- 書写指導、書初め会指導
- 海洋ごみに関する講話
- じゃがいも・野菜植え付け指導
- 箏の体験学習
- しまくとぅば講話
- エイサー指導
- 茶道体験



←書き初め指導（上田小学校）



ミシン指導（豊見城小学校）→

### ◆工夫していること

#### 【学校】

- 学年で話し合って活動時間を調整している。
- 事前打ち合わせを行っている。そうすることで学校側もボランティア側もスムーズに活動に取り組んでいる。
- 地域教材や専門性が必要な学習は、ボランティアを活用し学習効果を高めている。
- コロナ対策を行いながら活動している。

#### 【本部】

- 各種団体への周知活動と、公民館の掲示板を活用した広報活動を行った。
- 学校とボランティアとの調整を綿密に行った。
- 教育委員会主催のボランティア講演会及び感謝の会を開催した。

### ◆成果と課題

- 【学】 専門的な指導のおかげで学習効果が高い。
- 【学】 職業人講話を通して、生徒達の進路選択に役立つと思う。
- 【学】 児童の意欲向上につながっている。（クラブ活動、各学年の学習活動）
- 【学】 多種にわたるボランティアの方々のおかげで、学習活動の幅が増えた。
- △【学】 帰国子女に対する日本語学習支援において苦慮している。
- △【学】 事前打ち合わせの時間を確保するのが難しい。
- 【ボ】 子どもたちの喜ぶ顔が見られて良かった。いつも子どもたちから元気をもらっている。
- 【ボ】 自分の活動を子どもたちに伝える機会があって嬉しい。
- 【本】 それぞれの学校の活動内容を共有することで、学校からの依頼が増え、幅が広がった。
- △【本】 内容によってボランティアを多く確保するのが難しく、依頼に応えられない場合がある。

# うるま市

## 地域学校 協働本部名

宮森小学校地域学校協働本部、他23地域学校協働本部

小学校16校、中学校10校

(城前小学校、伊波小学校、与那城小学校、南原小学校、勝連小学校、平敷屋小学校、津堅小中学校、天願小学校、あげな小学校、田場小学校、具志川小学校、兼原小学校、高江洲小学校、赤道小学校、彩橋小中学校、石川中学校、伊波中学校、与勝中学校、与勝第二中学校、あげな中学校、具志川中学校、高江洲中学校、具志川東中学校)

### ◆代表的・特徴的な活動

- 交通安全指導・部活動指導・環境整備・読み聞かせ・学習支援（平和学習・昔遊び体験 稲作体験）・地域未来塾
- PTA主催のふれあいまつり（保護者・学校・地域とふれあう行事）（伊波小学校）
- 地域学習（遠足・校外学習）（南原小学校・具志川小学校）・校区探検（平敷屋小学校）
- 運動会に地域参加種目を取り入れ島を網羅した運動会
- 地元の介護施設との交流（津堅小中学校）
- 夏休みラジオ体操・秋フェスタ・地域学習（勝連城跡とのかかわり）（南原小学校）
- 動植物世話（放課後・土日祝日）（天願小学校）
- 夜間パトロール（石川中学校）
- 公民館と連携事業（自治会行事・美化作業等）（あげな中学校）
- 自治会10字の広報誌を学校に掲示（あげな中学校）
- 各自治会による定期的な見回り活動（高江洲中学校）



平和講演会（勝連小学校）



稲作体験（天願小学校）



職業学習・長堂畜産  
（与勝第二中学校）

### ◆工夫していること

- 月に一回定期的にボランティアと情報交換（伊波小学校）
- 運営委員と年1・2回の給食の試食会（伊波小学校）
- 公民館と学校事務室に一人ずつ地域コーディネーターを配置し、地域と学校と情報共有を図っている。スクリレを通して地域の行事の周知（南原小学校）
- 地域人材バンクへの登録と人材名簿の作成（天願小学校）
- グループラインで情報交換や連携を図る・ボランティア活動便りの配信（高江洲小学校）
- 地域行事への積極的な参加（津堅小中学校）
- 地域コーディネーターと自治会長と連携し行事案内などを掲示し、多くの生徒が自治会への関心を深めボランティア活動に参加出来るようにしている。（あげな中学校）

### ◆成果と課題

- 【コ】 SNS（スクリレ）等を活用し、ボランティアの確保が出来た。
- 【学校】 子供たちの地域への愛着が深まり、地域への誇りを持ち、また、地域の方とのコミュニケーションが向上してきている。
- 【学校】 夏休みから未来塾を開始することで、生徒の学習意欲の向上につながった。
- △【コ】 協力して下さっている地域人材の高齢化。
- △【コ】 OB頼りのところがあり、現役の保護者を増やすことが課題。
- △【学校】 地域学校協働活動推進員の後継者探しが課題。
- △【学校】 学校の教育活動と地域の思い（伝統継承等）とのバランス、合意形成の難しさ。持続可能なふるさと教育への課題。

# 宮古島市

## 地域学校 協働本部名

宮古島市地域学校協働本部

小学校9校

(平良第一小学校、南小学校、北小学校、東小学校、久松小学校、鏡原小学校、西辺小学校、狩俣小学校、池間小学校)

中学校4校

(平良中学校、北中学校、池間中学校、城東中学校)

## ◆代表的・特徴的な活動

- 朝の読み聞かせ
- 登下校安全指導
- 放課後子ども教室の実施
- 中学校の総合学習での方言指導
- 校内意見発表会に向けての講話
- 平和学習での講話
- 人権教室の実施



朝の読み聞かせ①



登下校安全指導



朝の読み聞かせ②

## ◆工夫していること

放課後子ども教室を実施するにあたり、子どもたちの声やスタッフの意見を取り入れ、活動内容を工夫している。

また、学校現場の実情に応え、地域の人材を活用している。

## ◆成果と課題

○【コ】放課後子ども教室について、スタッフのアイデアを生かすことで、活動内容に広がりができる。

△【教委】放課後子ども教室を実施したい学校があるが、活動場所が確保できず、活動できずにいる。

# 南城市

## 地域学校 協働本部名

南城市地域学校協働本部

小学校9校

(玉城小学校、船越小学校、百名小学校、知念小学校、久高小学校  
馬天小学校、佐敷小学校、大里南小学校、大里北小学校)

中学校5校

(玉城中学校、知念中学校、久高中学校、佐敷中学校、大里中学校)

### ◆代表的・特徴的な活動

- 玉城地区、知念地区、佐敷地区、大里地区にあるそれぞれのボランティア組織と地域ボランティアが、コーディネーターと連携し学校支援を行う
- 授業、早朝などの学習支援（採点補助、個別指導）
- 放課後の受験前対策補修、期末テスト補修
- PTAを中心とした読み聞かせ
- ミシン、書初め、水泳、しまくとぅば等のクラブ活動指導者の配置
- 市内出身の陸上選手による陸上教室
- ボランティアが自然案内や市内史跡等、
- 地域案内を行う総合学習や環境教育
- 学校内外の花壇、菜園、農園などの環境整備
- 朝の交通安全指導（スクールガード）、野菜作り指導
- 運動会に向けてのエイサー指導
- 外国籍児童を含む、児童・生徒への寄り添い支援
- 遠洋漁業水揚げ見学、朝市のせり体験等
- 地域の原生種「キバナノヒメユリ」を育てよう

### 陸上教室の様子



### ◆工夫していること

- 公式LINEアカウントを活用して学校からの支援要請やボランティア募集を行い、コーディネーターのツールとして有効活用している。
- ボランティア証明書の発行を導入し、学生の参画が増えるよう工夫している。
- コミュニティスクール（学校運営協議会）にコーディネーターも参加し、地域と学校の課題や現状把握に努めている。
- PTAや学生など幅広い人材が学校と関われるように道筋を作ることも意識している。

### ◆成果と課題

- 【コ】コーディネーターの定例会を設けて、各地域や学校の活動共有や人材の共有を行い、地域学校協働活動の充実を図る取り組みができた。
- 【学校】公式LINEから学校のボランティア要請をするとコーディネーターが対応し、スムーズに人材の紹介や活動の打合せの調整ができるようになった。今後は、学校の働き方改革を進めつつ、教員と生徒が向き合う時間を増やす取り組みへ地域と共に工夫していく必要である。

# 本部町

## 地域学校 協働本部名

本部町地域学校協働本部  
小学校4校、中学校3校  
(本部小学校、本部中学校、上本部学園、瀬底小学校、伊豆味小中学校)

### ◆代表的・特徴的な活動

#### 【本部小学校】

- 平和学習の補助  
地域の戦争体験者による講和を実施した。
- 朝の登校見守り  
地域の老人会と協力し、登校時の交通安全活動を行った。



放課後の体験活動

#### 【本部中学校】

- 放課後の体験活動  
放課後の調理くらぶ、手芸くらぶを地域ボランティアが実施した。
- 朝の登校見守り  
地域の団体（渡久地警防団）と協力し、登校時の交通安全活動を行った。
- 学校行事の補助  
地域ボランティアが各種健康診断の補助や運動会の着付け係りなどの役割を担った。



学習発表会の練習

#### 【瀬底小学校】

- 学習発表会の指導（三線）  
地域ボランティアが三線を指導し、学習発表会で発表することができた。

### ◆工夫していること

地域コーディネーター、放課後子ども教室コーディネーター等で構成するグループLINEを活用した。他校の活動の様子等もタイムリーに共有することができた。

### ◆成果と課題

- 【コ】 学習発表会で地域の伝統芸能（三線）を発表した。これをきっかけに指導に携わった地域の方と子ども達との繋がりを築くことができた。子ども達は地域の伝統芸能への関心を高める機会となった。
- △【教委】 ボランティアが固定化している。新しいボランティアを発掘するため、周知活動に取り組みたい。

# 恩 納 村

地域学校  
協働本部名

## 恩納村地域学校協働本部

恩納村立 うんな中学校  
恩納村立 安富祖小学校、恩納村立 恩納小学校  
恩納村立 仲泊小学校、恩納村立 山田小学校

### ◆代表的・特徴的な活動

#### 【地域との連携】

- ・稲作プロジェクト
- ・習字の先生
- ・お菓子作りサポート
- ・職業人講話
- ・平和講演
- ・サンゴ観察
- ・マナー講座
- ・クリスマスリース&  
みつろうキャンドル作り
- ・



#### 【村職員との連携】

- ・環境学習フィールドワーク
- ・平和学習フィールドワーク
- ・まちたんけん
- ・歌碑めぐり
- ・歴史ロード散策
- ・干潟観察
- ・河川生きもの観察
- ・地層見学
- ・役場ロビーでの販売体験活動



### ◆工夫していること

- ・学習に係る活動は、一つの学校の取り組みを他校にも伝えてる。
- ・校外学習時のマイクロバス運転手は、学校と連携し保護者含めて依頼できるようにしている。
- ・メール、電話、FAXなどそれぞれの先生が連絡を取りやすい方法に合わせて連絡手段を変えている。

### ◆成果と課題

- 【コ】地域のボランティアさんが学校に入れるようになり、これまでの活動から発展した取り組みができた。
- 【学】地域の方が関わって下さることで学校に活気が出た。地域とコミュニケーションをとるいい機会になっている。
- 【コ】行政が進めているSDGs活動を推進するために、村職員が学校に関わる機会が多くなっている。
- 【ボ】楽しく活動している。自分ができることであればいつでも子どもたちのお役に立ちたい。
- △ 学校の授業日直前での依頼があり、短い期間で各所との調整に追われた。

# 読谷村

## 地域学校 協働本部名

### 読谷中学校地区地域学校協働本部

(構成学校) 渡慶次幼稚園、読谷幼稚園、喜名幼稚園、渡慶次小学校、読谷小学校、喜名小学校、読谷中学校

### 古堅中学校地区地域学校協働本部

(構成学校) 古堅幼稚園、古堅南幼稚園、古堅小学校、古堅南小学校、古堅中学校

## ◆代表的・特徴的な活動

- ・平和学習の戦争体験講話
- ・新入学準備（教科書袋入れ・靴箱等のネーム張り等）
- ・ミシン エプロン補助
- ・全国学力状況調査（国・数・理）データ入力作業
- ・視力、歯科、内科健診の児童整列補助
- ・早下校時の交通安全指導
- ・不登校寄り添い支援
- ・高校入学に向けた模擬面接や職場体験支援



## ◆工夫していること

- ・ボランティア活動がスムーズに取りかけられるように活動推進員は事前調整に努めている
- ・ボランティア講座の開催及び事業周知を行い、地域人材の掘り起こしに努めている
- ・各学校で参考になりそうな事例をご案内し、環境整備に繋げている
- ・定期的に学校との情報交換等を行い、ニーズの把握とマッチングを学校と連携を図り行っている
- ・ボランティア登録の呼掛けを行い、人材確保を行う
- ・学校に活動事例を紹介し、情報共有を行い、事業の活用を促している

## ◆成果と課題

- 【学校】・地域人材・自治会・保護者の協働が学校に与える影響は大きい
- △【ボ】・関わり合う場所と役割を分かりやすく周知が必要
- △【推進】・推進員の人材確保・適正な配置・人員に関して考える必要がある
- △【本部】・CSとの一体推進を行う連携を図る
- △【本部】・地域の特性を活かした人材発掘や協力体制を工夫して行う必要がある。
- △【本部】・地域の中に特色のある学校づくりを行政職員と推進員が深く理解する必要がある。推進員の人脈と地域の特性を把握しているため、学校からのボランティア要請に関しては対応できている。今後、様々な課題をどのように対応していくかなど担当職員と考えていく必要がある。

# 嘉手納町

地域学校  
協働本部名

屋良小校区地域学校協働本部、嘉手納小校区地域学校協働本部  
嘉手納中学校区地域学校協働本部

## ◆代表的・特徴的な活動

嘉手納中

- ・マナー講話・職場体験(2学年)
- ・ミシン指導ボランティア(2学年)
- ・着付けボランティア(学習発表会)(3学年)

嘉手納小

- ・読み聞かせボランティア
- ・サーターアンダギー作り(6年生と最上交流児童)

屋良小

- ・平和学習
- ・夏を探そう(1年生)
- ・裁縫・ミシン指導(5年生)



ミシンボランティア(嘉手納中)



マナー講話(嘉手納中)



着付けボランティア(嘉手納中)



読み聞かせ(嘉手納小)



夏を探そう(屋良小)



裁縫・ミシン指導(屋良小)



サーターアンダギー作り(嘉手納小)



平和学習(屋良小)

## ◆工夫していること

- ・保護者から人材を探したり、保護者へもボランティア募集をかけることで、保護者がボランティアとなるきっかけとなり、また、卒業後も地域のボランティア人材として学校に関わってもらえるよう、意識作りをしている。
- ・学校側(先生)がどのようなボランティアを望んでいるかをその都度きちんと把握し人材探しを心掛けている。
- ・ボランティアの人数が多い活動については、個別ではなく一同に説明会を開き、共有している。
- ・ボランティアが不安にならないように、コーディネーターが早めに学校へ行きボランティアを迎え、共に行動するようにしている。
- ・ボランティアの人数が多い活動については、LINEを活用している。

## ◆成果と課題

- [本部]ボランティアを続けて活用出来ていることで、地域の方が授業に入る事に生徒も慣れ、開かれた学校作りにも繋がっている。
- [コ]毎年ボランティアを活用できている活動は、人材が定着しつつある。
- [コ]保護者ボランティアとして携わった方が子の卒業後もボランティアとして活動いただいている。
- [本部]ボランティアもやコーディネーターが子どもたちと顔見知りになり、地域の安全や活性化につながる地域の見守り役となり、子どもたちも気軽に声をかけあいさつが良くなるようになった。
- [学校]子どもたちもボランティアも絵本に触れる良い機会となり、地域や体験が増えた。
- △[コ]学校側の要望とボランティアさんの提案が一部すり合わないこともあったが、最終的に双方の提案が一致し生徒にベストな対応ができた。
- △[コ]学校の働き方改革で16:45以降に連絡調整ができないためコーディネート活動の工夫が必要。

# 北谷町

## 地域学校協働本部名

北谷小学校地域学校協働本部  
北玉小学校地域学校協働本部  
浜川小学校地域学校協働本部  
北谷第二小学校地域学校協働本部  
北谷中学校地域学校協働本部  
桑江中学校地域学校協働本部  
北谷高等学校地域学校協働本部

### ◆代表的・特徴的な活動

- 地域未来塾・・・学習支援、プログラミング教室、サマースクール（夏休み）
- 授業補助（見守り）
- 家庭科実習（エプロン作りでのミシンサポート）
- 社会科見学引率
- 授業の通訳サポート
- キャリア教育
- 運動会エイサー指導と衣装制作
- 環境整備支援（花壇の手入れ、水かけ、草刈り）
- 読み聞かせ
- 朝の交通安全見守り
- 自治会活動や公民館まつりボランティアへの参加（準備、運営補助、片付けなど）



### ◆工夫していること

- ・地域未来塾では、児童生徒の一人ひとりに合った学習支援で基礎学力の定着を図る取り組みをしている。
- ・全体的に目が届くよう、学年ごとに席を決めて学習に取り組んでいる。
- ・常に子ども達への声掛けを大切にスタッフ同士の情報交換の時間を設けている。
- ・地域学校協働活動推進員が定例会、講座、研修会に参加し情報交換やスキルアップに努めている。
- ・各公民館に、毎月「学校だより」を配り学校の取組や児童の活動を紹介、また「公民館だより」を校内に掲示して地域の情報を共有できるようにしている。
- ・ボランティア登録用紙を各家庭に配布し、募集の周知をしている。

### ◆成果と課題

- 【学 校】子ども達の活動の幅が広がった。
- 【学 校】子ども達が授業の復習などを行うことで、理解が深まり学習の定着につながっている。
- △【学 校】地域の人材確保と地域連携をもっと進めたい。
- 【学 校】キャリア教育実施後、児童が将来に夢について具体的に考えるようになり、学校生活に前向きに取り組めるようになった。
- 【推進員】各学校に推進員が配置されたことにより、先生方とのコミュニケーションが増え連携が取りやすくなった。

# 北中城村

地域学校  
協働本部名

北中城村地域学校協働本部  
北中城中学校 北中城小学校 島袋小学校

## ◆代表的・特徴的な活動

個別学習支援（北中城中学校）



学生、地域の方、退職教員による個別の学習支援

キャリア教育支援（北中城中学校）



役場職員、地域の方による面接指導

特別支援クラスの補助（北中城小学校）

ひまわり支援ボランティアグループ

教材園の整備、指導（北中城中学校）

畑の整備、棚の作り方等の指導

ドリームウォール（北中城小学校）

児童の夢を描く板へのペンキ塗り作業

農機具の整備作業（島袋小学校）

草刈り機等の整備

平和学習講師派遣（島袋小学校）

ミシン学習の補助（島袋小学校）

生徒の送迎バスの運転（北中城中学校）

## ◆工夫していること

- コーディネーターの協力体制
- 村内各種団体との連携
- ボランティアを依頼しやすい雰囲気づくり
- 担当教員との連絡調整をしっかりと行う事
- 気持ちよくボランティアしてもらえるように声かけ

## ◆成果と課題

- 【本部】村内各種団体とのスムーズな連携で活動できた。
- 【学校】個別の学習支援をしてもらうことで、個々のレベルの指導ができ、学習意欲が向上。
- 【本部】面接練習の面接官を役場の職員にお願いすることで、学校と役場の関りができた。
- △【本部】活動内容の周知（広報活動）

# 中城村

地域学校  
協働本部名

中城中学校地域学校協働本部、中城小学校地域学校協働本部  
津霸小学校地域学校協働本部、中城南小学校地域学校協働本部

## ◆代表的・特徴的な活動

- 手話講座（中城中学校）
- 平和学習（中城小学校、津霸小学校）
- 遠足の見守り（中城小学校、津霸小学校、中城南小学校）
- 中城城跡ガイド（中城小学校、津霸小学校、中城南小学校）
- 地域散策ガイド（中城小学校、津霸小学校）
- 職業人講話（中城中学校）
- 面接指導（中城中学校）
- バスの運転手（中城小学校、津霸小学校、中城南小学校）



遠足の見守り



手話講座・手話ソング



平和学習

## ◆工夫していること

- 2週間に1回、地域コーディネーターと生涯学習課職員でミーティングを行い、各学校の活動状況等を情報共有している。
- 学校の現状を把握し、教諭との調整がスムーズに行えるよう各学校に地域コーディネーターを1人ずつ配置している。
- 地域の意見を汲み取るため、地域コーディネーターが定期的に自治会の訪問を実施している。
- 各地域コーディネーターが、各学校の取り組みを全小学校で共有しながら、活動の提案を行っている。
- 年に1回ボランティアの方々と情報交換会を実施し、成果や課題を共有している。

## ◆成果と課題

- 【本部】地域コーディネーターと生涯学習課職員で定期的にミーティングを行うことで、各学校の情報を常に共有し、連携して課題改善に取り組むことができた。
- 【コ】各学校に1人ずつコーディネーターを配置することで、学校との連携・調整をスムーズに行うことができる。
- 【学校】子どもたちの様々な学習を地域の方々が協力してくれることで、地域と子どもたちのコミュニケーションの場になっている。
- △【本部】活動内容によってはボランティアの人材が不足しており、同じ人ばかりを頼りにしているため、さらに人材バンクを拡充させる必要がある。

# 西原町

## 地域学校 協働本部名

西原町地域学校協働本部

小学校4校  
(坂田小学校、西原小学校、西原東小学校、西原南小学校)  
中学校2校  
(西原中学校、西原東中学校)

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・地域、保護者ボランティアによる交通安全指導
- ・朝の読み聞かせ
- ・裁縫補助（ミシン教室）
- ・朝のドリルの丸付け
- ・環境整備（花壇の手入れなど）
- ・学習支援（平和学習、歴史教育）
- ・学校行事支援（避難訓練の交通誘導、運動会  
演舞指導）
- ・ボランティア外部コーチによる部活動指導
- ・町役場職員による講話（町長講話、ごみ減量化など）
- ・町文化協会によるクラブ活動の支援（箏曲、ウチナーグチ）



避難訓練立哨ボランティア（西原東小学校）



お仕事インタビュー  
（坂田小学校）

### ◆工夫していること

- ☆地域コーディネーターの意見交換、情報交換の機会を設けている。
- ☆学校、自治会、民生委員、部活動指導員、児童との情報交換。
- ☆ボランティア活動している方へ日頃の感謝を伝える機会を提供。



朝の読み聞かせ  
（西原東中学校）

### ◆成果と課題

#### ◎成果

- ・児童の登下校の安全確保ができています。
- ・地域、保護者にボランティア活動が定着しつつある。

#### △課題

- ・ボランティアが参加しやすいよう場所の確保が必要。
- ・ボランティアの人材が固定化・高齢化が顕著であるため、現役子育て世代など新たな人材の発掘が必要。
- ・専門性を持ったボランティアの人材不足。

# 与那原町

## 地域学校 協働本部名

与那原町地域学校協働本部

構成学校:与那原幼稚園・与那原東幼稚園  
与那原小学校・与那原東小学校  
与那原中学校

### ◆代表的・特徴的な活動 ○代表的・特徴的な活動

#### 【小学校】

- ・校区探検（施設見学）
- ・パッカー車見学
- ・ミシン指導
- ・稲藁の贈呈式
- ・福祉講話／福祉体験
- ・平和学習
- ・園芸ボランティア



（町内瓦工場見学）



（軽便鉄道与那原駅舎見学）

#### 【中学校】

- ・綱曳講話
- ・職業人講話
- ・福祉講話／福祉体験



（与那原中学校 綱曳講話）

### ◆工夫していること

- ・地域の方とのつながりを作るために、コーディネーターが町内社会教育団体の定例会や区長会へ伺いあいさつをしている。
- ・近隣市町村のコーディネーターさんとの連携を図り情報交換を定期的に行うことで、良い事例を参考に学校側へ提案を行っている。
- ・職業人講話については、生徒のニーズを把握し、より興味を持てる講話になるよう職業選定を行うなど工夫している。

### ◆成果と課題

#### 【成果】

学校だけでは実施できない体験や講話を学校のカリキュラムとして導入することで児童生徒の視野の広がりにつながるのとあわせて、地域と連携することで地域のことを知ることもつながり、参加する地域講師の方も地域の子は地域で育てる意識が芽生える。

#### 【課題】

スタッフの高齢化が進んでおり、PTAや子育て世代といった若い世代との連携が課題となっている。定期的に必要なスタッフの募集を行い、人材バンク的な感じで名簿への登録人数を増やしていく必要がある。また、学校側にも事業の趣旨を理解してもらい、依頼内容について学校内で効率化を図れるよう協議が必要である。

# 南風原町

## 地域学校 協働本部名

### 南風原町地域学校協働本部

小学校4校  
(南風原小学校、津嘉山小学校、北丘小学校、翔南小学校)  
中学校2校  
(南風原中学校、南星中学校)

## ◆代表的・特徴的な活動

- 1 南風原中学校：1年総合学習「南風原町の産業×SDGs」町の特産物である琉球かすりの活性化をめざし、生徒とデザイナーが協同で商品開発を行った。
- 2 南星中学校：1年総合学習「農林高校の紹介と農業体験」高校生と交流しながら野菜の苗植えを行った。
- 3 南風原小学校：3年総合学習「カボチャ団子作り」町の特産物であるカボチャについて学んだ。
- 4 津嘉山小学校：6年体育「津嘉山エイサー演舞指導」津嘉山青年会との交流を通して児童が伝統芸能に対する関心や理解を深めることができた。
- 5 北丘小学校：4年道徳「平和学習」対馬丸事件証言者から、戦争の悲惨さや平和の大切さについて学んだ。
- 6 翔南小学校：4年総合学習「かすり学習」琉球かすりの製作工程見学や織り体験を通して、苦労や願いを知り伝統工芸の良さに気付くことができた。



1 南風原中学校



2 南星中学校



3 南風原小学校



4 津嘉山小学校



5 北丘小学校



6 翔南小学校

## ◆工夫していること

- 年度初めに町内小中学校の教職員と各種団体(児童民生委員、町P連、町老連、区長会)へ事業説明
- 広報活動(町広報誌、壁新聞、SNS投稿、事業報告書、活動写真展示会など)
- 実行委員会、教頭連絡会、平和学習担当者連絡会、ボランティア懇親会の開催
- 事務局(生涯学習文化課職員)とコーディネーターの月定例ミーティングの開催
- 島尻地区各市町村コーディネーターと情報交換会を開催し、地区全体の事業の充実を図った。

## ◆成果と課題

- (学校) 地域の優れた人材を確保し、専門的な知識や技術や指導法を教職員が学ぶ貴重な機会となり、授業の資質向上にもなっている。
- (地域) 地域の伝統文化が継続的に授業に取り入れられており、将来の後継者育成を担うことに寄与していることで地域にも喜ばれている。
- (本部) ボランティア懇親会にてボランティアへ感謝を伝え、継続的な活動に繋げることが出来た。
- (コ) 双方の事前情報をオンラインやWebフォームを活用して収集するなど工夫し、打ち合わせ等の簡素化と時間短縮など負担軽減に努めた。
- (コ) 他課の出前講座・講師派遣事業等を積極的に活用することで、町長部局とも連携しながら推進することが出来た。
- △(コ) 授業内容によっては、ボランティアの高齢化や新たな人材発掘が課題。

# 八重瀬町

八重瀬町地域学校協働本部

地域学校  
協働本部名

小学校4校  
(東風平小学校、白川小学校、具志頭小学校、新城小学校)  
中学校2校  
(東風平中学校、具志頭中学校)

## ◆代表的・特徴的な活動

### ●講師の派遣

- ・クラブ活動指導員(全小学校)
- ・平和学習講話(全小中学校)
- ・職業インタビュー(白川小、新城小、具志頭小)
- ・総合学習支援(全小学校)
- ・書道指導(東風平小、白川小)
- ・琉球料理講話(新城小)
- ・特別支援クラス運動遊び(新城小)
- ・黒糖作り体験(新城小)
- ・伝統芸能講話(白川小、新城小)

### ●校外学習の訪問先調整

〈小学校〉

- ・2年生活科まちたんけん  
(東風平小、新城小、白川小)
- ・3年総合学習(全小学校)
- ・4年総合学習(東風平小、白川小、新城小)
- ・5年総合学習(白川小、東風平小)
- ・6年総合学習(東風平小)

〈中学校〉

- ・1年総合学習(具志頭中)
- ・1年職場体験(東風平中)



## ◆工夫していること

- ・年度末～年度当初にかけて、各学校・各学年の新年度年間計画をヒアリングし、それに基づいた年間の調整計画を作成し活動のベースとしている。

## ◆成果と課題

- 【コ】 職場体験・職業インタビューなどにおいて、特に企業・事業者との接点を構築することができ、来年度以降の活動における協力・協働も期待できる。
- △【コ】 【本部】 各校が活動再開・拡大に転じたことから、業務量が当初見込みより多くなり、人員を増やしたにも関わらずコーディネーターの負担が増加している。
- △【コ】 各校には年度当初に事業計画を提出してもらっているが、急な変更・追加の依頼が度々あり、ボランティア等との調整に支障をきたすケースがあることから、学校間・担任間で情報共有・調整を行う機会が必要。